

察レポート

in 北海道

10月7日～8日、北海道厚真町と当別町に議員行政
視察に行かせていただきました。1日目の夜以降から
台風23号が北海道に接近して2日目の視察が危ぶまれ
ましたが、各地に警報が出る中、予定の視察が2日間
とも無事に行えたことは、幸いでした。

厚真町を 視察して

総務経済副委員長

上田光彦

宅地造成を計画されまし
たが、景気減退の影響で
当初の目標の達成には成
りませんでしたが、退職

夫婦や、近年はニューフ
アミリーグ層が厚真町の環
境の良さに本州などから
の移住も増えているとの
お話しでした。ただ、他

地方同様、何年か後の人
口減少は避けられないと
のことになりました。(飛
島村も同様です)

厚真町は、北海道央南
部の苦小牧市に隣接し、
404平方キロメートル

(飛島村は22平方キロメ
ートル)もの広大な面積
を有しますが、人口47

33人(飛島村は459
1人)、港湾や火力発電
所を町内に持つなど、財
政力が豊かな点もまた、
飛島村と似通っています。

そこで厚真町は子育て
支援として子供にかかる
医療費や保育料をポイント
トとし、同額の商品券(町
内の商店のみで使用)

として還元するものであ
ります。制度の面から言
えば飛島村のほうが優れ

惠まれていますが、ポイ
ントは、地元の商
業者との共
存共榮を図って
いる点です。

ここで飛島村

カードを参考にして、子
どもから高齢者まで使
える、商工業者と飛島村が
共通カードでどこでも使
える(プレルでも、温泉

でも、商店でも)どこで
使つてもポイントがつく、
そんな汎用性のある使い

勝手のいいポイントカ

1. 子育て支援カードの発行を申請します
2. 上記のカードにポイントを貯めます
(どちらの事業も1円=1ポイントで還元されます)
3. 500ポイントで500円相当の子育て支援厚真町金券と交換できます

子育て支援厚真町金券

次の2つの事業でポイントをためて、町内の
商店で買い物ができる金券と交換できます。

<子育て支援保育料還元事業>

保護者が負担した保育料の2割分をポイント還元

<子育て支援医療費還元事業>

小学生の通院・入院、中学生の入院にかかった医療費自己負担額をポイント還元
(厚真町に住所がある小・中学生の保護者で生活保護受給世帯を除く)

- 1. 子育て支援カードの発行を申請します
- 2. 上記のカードにポイントを貯めます
(どちらの事業も1円=1ポイントで還元されます)
- 3. 500ポイントで500円相当の子育て支援厚真町金券と交換できます

厚真町町民福祉課子育て支援グループ
お問い合わせ TEL 0145-26-7872

ここでは、飛島村
に要請すべきは
厚真町のみなら
ず、北海道の他
自治体でも行つ
てはいる行政が發
行するポイントカ
ード



議員行政視

研修テーマ

10月7日 北海道勇払郡厚真町

- (1)子育て支援医療費還元事業について
- (2)子育て支援センター
- (3)ママSUNカードについて

10月8日 北海道石狩郡当別町

- (1)(仮称)当別町「道の駅」構想について
- (2)当別ブランド推進事業について

飛島村もそれに必要なポイントカードになると思います。そしてどこかの自治体も、決して横並びでなくともいい、飛島村独自のオリジナルのポイントカード事業があつてもいいんだと改めて思つた今度の議員行政視察でした。

当別町 道の駅構想

文教厚生副委員長

小川政徳

文教厚生副委員長

小川政徳

「道の駅」

平成29年春竣工予定

当別町の新たなラン
ドマーク施設として、町
の特産品の販売や情報發
信などをを行い、町内外か
らの集客を図る。

計画地周辺への企業や
施設の誘致に向けた先導
的施設として

「食」食事の提供

「買」特産品販売

「休」休める空間

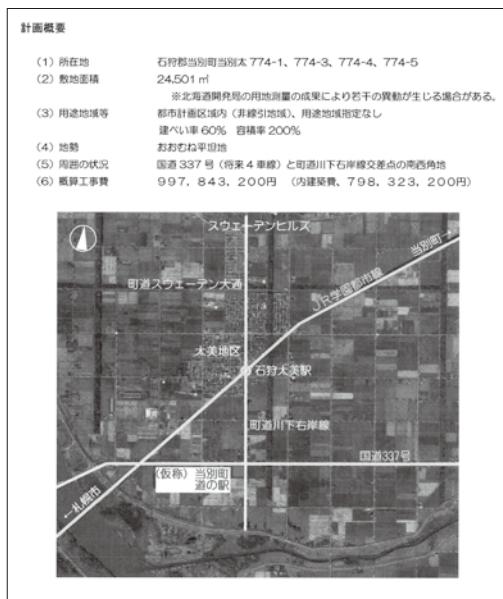
「知」情報の発信

この様な基本構想です。

札幌市に隣接する立地
特性を生かし、集客層は
特に女性へのターゲット

花卉栽培 出荷9億円

を絞った積極的な情報発



信を行い、農商工連携による地域ブランドの育成をして、立ち寄り型ではなく滞在観光目的型の道の駅である、高い附加価値を持つて整備していく。札幌近郊、観光立地条件がある当別町では、外国人観光客の取り込みも積極的に行い、観光収入も視野に入れた施設整備を行う説明でした。まさ

に、飛島村が道の駅構想を計画して建設目的を掲げるとしたら、ほとんどこの項目が当てはまる計画になります。

プロジェクト推進室担当者が、飛島村が道の駅構想を計画して建設目的を掲げるとしたら、ほとんどこの項目が当てはまる計画になります。

信を行い、農商工連携による地域ブランドの育成をして、立ち寄り型ではなく滞在観光目的型の道の駅である、高い附加価値を持つて整備していく。札幌近郊、観光立地条件がある当別町では、外国人観光客の取り込みも積極的に行い、観光収入も視野に入れた施設整備を行う説明でした。まさに、飛島村が道の駅構想を計画して建設目的を掲げるとしたら、ほとんどこの項目が当てはまる計画になります。

信を行い、農商工連携による地域ブランドの育成をして、立ち寄り型ではなく滞在観光目的型の道の駅である、高い附加価値を持つて整備していく。札幌近郊、観光立地条件がある当別町では、外国人観光客の取り込みも積極的に行い、観光収入も視野に入れた施設整備を行う説明でした。まさに、飛島村が道の駅構想を計画して建設目的を掲げるとしたら、ほとんどこの項目が当てはまる計画になります。

